

報告

第4回JASPA車いす・姿勢保持試乗会の報告

東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 繁成 剛

2013年6月22日(土)の10時から16時まで、埼玉県朝霞市にある東洋大学朝霞キャンパスにおいて、第4回JASPA車いす・姿勢保持試乗会が開催された。台風と梅雨前線が接近して前日まで雨が降り続いていたのが嘘のように試乗会の当日は好天に恵まれた。このイベントは日本福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)の会員である企業が、車いす、歩行器、姿勢保持具、ベッドなどの製品を展示し、来場者に自由に試乗していただき、担当者が丁寧に説明することで個々の製品の特徴を理解していただくことが最大の目的といえる。展示企業は12社で参加スタッフは30名であった。また東洋大学の学生ボランティア18名と教員2名、埼玉県リハビリテーションセンターの職員2名、大阪からシルバー産業新聞社とバリアフリー事務局スタッフも参加していただいた。来場者数は約180名という報告を受けている(図1)。

日本リハビリテーション工学協会SIG姿勢保持もこのイベントに共催しており、私を含め役員3名が午前中のワークショップを担当した。この企画は「ウレタン



図1 校舎のピロティで開催された試乗会

を削って姿勢保持具を作ろう」と「強化段ボールを使って姿勢保持具を作ろう」という2種類のワークショップを事前に申し込んでいただき、合計で12名の参加があった。参加者は関東圏のセラピストが多かったが、障害児の親や青森県から来られた方もいて、皆さん熱心に姿勢保持具の製作に取り組んでいた(図2)。



図2 SIG姿勢保持が担当したワークショップ

午後は西九州大学の米田郁夫教授による「不安定な車椅子のススメ」という興味深いテーマの講演と筆者の「姿勢保持の基本を知って生活を楽しむ工夫」という講演会が開催され、施設職員、障害児の両親、企業関係者が熱心に聴講されていた。講演会場になっていた実験工房の1階には、繁成ゼミの学生たちが制作した木製の折りたたみ式ブランコ2種類を展示し、来場した子どもたちが座位や臥位で乗って揺れを楽しんでいた。

今回、筆者として嬉しかったことは昨年までボランティアとして参加していた本学の卒業生が車椅子メーカーのスタッフとして参加しており、社会人として成長した姿を見せてくれたことである。りっぱに育てていただいている企業の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになった。イベントが終了してから、駅前の居酒屋で恒例の懇親会があり、和気藹々の雰囲気の中で今年の試乗会が無事終了した。来年もまた開催を予定しているので、機会がありましたら協会員の皆様もぜひご参加ください。

東洋大学 ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1